



平成22年10月12日

各 位

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎
(コード番号: 4572)
問合せ先 取締役 経営管理本部長 相川 法男
(TEL. 078-302-7075)

TCG ライフサイエンス社との創薬サービスの戦略的業務提携に関するお知らせ

本日、添付のプレスリリースを公表しましたので、お知らせいたします。
なお、本基本合意締結による当社の業績に与える影響は軽微です。

以 上

平成22年10月12日

報道関係者 各位
プレスリリース

カルナバイオサイエンス株式会社

TCG ライフサイエンス社との創薬サービスの戦略的業務提携に関するお知らせ

カルナバイオサイエンス株式会社（本社：神戸市、以下「カルナバイオサイエンス」）とTCG Lifesciences Ltd.（本社：インド カルカッタ、以下「TCG ライフサイエンス社」）は、世界の製薬企業やバイオテック企業に対してキナーゼをターゲットとした高付加価値型創薬サービスを共同で提供することについての戦略的な業務提携を行うことで合意いたしました。

両社は今回の業務提携により各々が保有する創薬技術を相互に補完し合うことで、キナーゼを標的とした研究開発についてシームレスな総合創薬サービスを提供することが可能となります。

当社代表取締役社長の吉野公一郎は、この業務提携について次のようにコメントしています。「広範囲なキナーゼに対するHTS（ハイスループット・スクリーニング）やプロファイリングパネルなどの当社のキナーゼ創薬基盤技術およびキナーゼ創薬に関するノウハウと、TCG ライフサイエンス社の総合的な創薬研究開発サービスを組み合わせることで、製薬企業やバイオテック企業に対して付加価値の高い創薬サービスを提供できるようになり、新薬開発における革新的なソリューションに繋がるものと確信しています。」

また、TCG ライフサイエンス社のマネージングディレクターである Swapan Bhattacharya 氏は以下のように語っています。「カルナバイオサイエンス社とは、同社の社内創薬プログラムをサポートする化学合成サービスから関係が始まりましたが、今回、両社の独自技術や実績を組み合わせ、顧客にさらに高品質サービスを提供しようという戦略的関係に発展いたしました。キナーゼに関係する創薬ターゲットは、今日、特に新規ガン治療薬の創製において高い需要があります。我々の製薬企業パートナーが望む付加価値の高い新薬候補化合物を探索するために、今回の提携による技術的補完から生まれるシナジー効果である高い専門性を活用していきたいと考えています。」

以 上

(ご参考)

TCGライフサイエンス社の概要

- (1) 名 称 : TCG Lifesciences Ltd.
- (2) 代 表 者 : Managing Director Mr. Swapan Bhattacharya
- (3) 所 在 地 : Block BN, Sector V, Salt Lake City, Kolkata, India
- (4) 設立年月日 : 1998年8月3日
- (5) 事 業 内 容 : 創薬及び臨床開発の受託サービス

TCGライフサイエンス社は、インド、ヨーロッパ、日本及び米国において、委託研究サービス、臨床研究及びリサーチインフォマティクスを提供するインド有数の研究開発業務受託機関であり、ニューヨークに本部を置くグローバルな投資コングロマリット、Chatterjee グループに属するライフサイエンス企業です。Chembiotek (創薬研究)、Clininvent (臨床試験マネジメント)及びLabVantage (リサーチインフォマティクス)の3つのユニットを通じて、グローバルな製薬企業やバイオテック企業との信頼に基づいた関係及びその取組みにおいて総合的な創薬研究サービスを提供しています。

詳細についてはTCGライフサイエンス社のホームページ (<http://www.tcgl.com>) をご覧下さい。

【本件に関するお問い合わせ先(報道関係・IR 関係)】

カルナバイオサイエンス株式会社

経営管理本部 経営企画部 IR担当

TEL : 078-302-7075